コロナ禍に実施された自治会活動の事例について

■自治会業務や運営について

・自治会の委員会会議ではzoomを使用してリモート会議を行っている。

・会議で欠席者がいた場合、ボイスレコーダーを使用して議事録を作成した。

・自治会独自のホームページ作成や新聞を発行し、自治会活動の広報を行っている。

・紙での回覧板と並行して「オンライン回覧」を行っている。オンライン希望者には回覧板の内容をPDFでメール配信している。

・総会は書類審査で承認の可否を求めた。

・人が集まらなくても行えるオンラインミーティングセミナーを新たにリモートで行った。

■防犯・防災活動について

・毎年100人前後集まって行っていた防災訓練ができなくなってしまったので、10数人で炊き出し訓練を行った。

・各世帯がそれぞれで災害対策ができるように「家庭防災備蓄のすすめ」を全世帯に配布した。

・消防署に依頼して規模を縮小した防災講話、防災映画上映、消火訓練を実施した。

・コロナ禍でもできる「災害安否確認訓練」を実施した。(ドアノブにタオルをかける。)

・防災訓練は地域全員ではなく代表者が参加し、内容は回覧で周知した。

・少人数での防災備品点検等を行った。

・オンライン(zoom)で防災講話を開催した。

■親睦・祭礼活動について

・祭りの際、山車は展示に限定して引き回しを中止した。

・自治会のメイン活動である夏祭りは中止したが、代わりに規模を縮小して納涼盆踊り大会を開催し、子供向けのイベントも実施した。

・年末親睦会(もちつき大会)はもち配布や抽選会で代替えとして実施した。

・お祭りは実施していないが、炊き出し訓練を兼ねた、芋煮会や美化運動(ゴミゼロ)等を行った。

・歩きながら地区の自然や文化、歴史などに触れ魅力を再発見してもらうウォークラリーを開催した。

・盆踊りの会の代替イベントとして盆踊り練習会、お囃子の会、演奏会を開催し、人手を抑制する形態とした。

・七夕祭り、クリスマスツリー、イルミネーション装飾等、人が集まらずに風物を楽しめる活動を毎年絶やさずに実施した。

・ラジオ体操実施場所を従来の場所から広い場所に変更し、出席印の押し方や参加賞の受け渡しにも極力接触が無い方式に変更した。

■環境美化活動について

・全員ではなく各班体制で美化活動を実施した。

・清掃実施前に、実施予定日やコロナ禍での作業の留意点・注意事項等を連絡した。

・感染予防のため用具を貸し借りしないよう持参を呼びかけ、各々が担当する作業や場所を決めた。

・外での活動なので清掃活動は継続して行った。